

第6学年社会科学学習指導案

日 時 平成16年9月30日(木) 5校時
児童・生徒 6年B組 男子12名 女子10名
指 導 者 熊谷大輔

1 単元名 新しい日本の国づくりを見つめよう
『二つの戦争と日本・アジア』

2 単元の目標

日清、日露戦争、条約の改正、民主主義を求める運動、産業の発展など我が国の国力が充実し国際的地位が向上していった様子について資料をもとに調べ、理解することができる。

3 単元について

(1) 教材観

本中単元は、学習指導要領第6学年の内容、(1)のキ「大日本帝国憲法の発布、日清・日露の戦争、条約改正、科学の発展などについて調べ、我が国の国力が充実し国際的地位が向上したことが分かること」を受けたものである。

本中単元で扱う内容には次のような特徴がある。

まず、国内的には、明治維新後の急激な社会の変化の中で、西洋を手本に国づくりを進め、西洋と対等の地位を目指そうという動きが高まりを見せていた時代である。

次に、国際的には、各国が領土の拡大を目指し、植民地を獲得しようとしていた時代である。日本も同様の動きを見せ、朝鮮に対する関心が高まり、武力での朝鮮進出を目指していた。その動きの中で、ビゴの風刺画に象徴されるように、朝鮮の支配権を争う日本と清国、満州への進出を目指していたロシアという対立の構図ができていった。それが日清・日露戦争を経て、更には朝鮮(韓国)併合へとつながっていった。

以上のことから、本中単元では、歴史的事象や人物に関する資料の内容や形態、数などその取り扱いを工夫しながら、当時の日本を取り巻く国際情勢と人々のくらしの様子、産業の発展の様子などに目を向けさせ、国力が充実し、国際的な地位が向上していく日本の姿に気付かせていくことが必要であると考えられる。

(2) 児童観

22名の、明るいクラスである。男女の仲もよく、おだやかな雰囲気のある学級である。しかし、学力面で不安な子が多く、言動にやや幼い面が残る。学習では基本的なことを大事にすること、行動では場に応じた行動をすることを日ごろから心がけている。

子どもたちは、歴史の授業にとっても関心を持って臨んでいる。年度始めから、導入資料への反応もよく、絵や写真から様々な発想で気づいたことや疑問に思ったことを発表することができる。学級文庫として置いてある歴史関係の本や学習マンガも喜んで読むなど、日常生活の中に歴史へ親しむ姿が見られる。また、修学旅行では「東北歴史博物館」での「火起こし体験」に積極的に参加するなど、歴史の面白さを感じることができる子どもたちである。

反面、「覚えなければならぬこと」がなかなか定着しない児童が見られる。これは授業でのよい発想や考えがなかなか理解に結びつかないこと、定着を図るための繰り返し学習や補充指導が十分でなかったことが原因と考えられる。また、人物の動きや歴史的な事象について、歴史のつながりや関連性をもとに発展的に考えることが苦手な児童も見られる。これは、授業において、既習内容をもとに比べたり、考えたりする学習が十分でなかったと考えられる。資料を読み取る力は十分ついてきているが、読み取ったことを文章で表すことや資料をもとに発表することは苦手であるためこれからの課題としたい。

以上のことを踏まえ、今後、既習内容の授業での活用により繰り返し学習を行い、定着が不十分な児童に対する補充指導にも力を入れていきたいと考えている。

(3) 指導観

本中単元の指導にあたっては、次の3点に特に留意したいと考える。

まず、導入資料の扱いを丁寧に行いたい。歴史への関心は強い子ども達であるが、その関心を更に引き出し本時の課題意識を高めるため、資料を大事にしていきたい。その際、ポイントを押さえた活用を心がけ、本時に扱うビゴの風刺画では4国の関係、ノルマントン号事件の絵からは日本のおかれた不平等な立場など本時の内容と結びつく

ような視点を持って資料を取り扱いたい。

次に、繰り返し学習を意図し、既習内容の活用を図りたい。学習内容の十分な定着を図るため、過去との比較（出来事）業績の比較（人物）など歴史のつながりを意識させながら授業を進めたい。そのため、発問の中にも既習事項を引き出す工夫をしたい。また、教室掲示にも子ども達の作った「歴史人物カード」を用い、基礎・基本の更なる定着を図りたい。

最後に、自力解決の場面で、調べた事実をもとに、背景、原因や影響を考える学習を大事にしたい。そのため調べ学習に入る前に、しっかりと見通しを持たせたい。一つ目は、「調べること」の見通しで、出来事であれば「背景・原因・結果・様子」などを視点としたい。二つ目は「調べる方法」の見通しで、教科書・資料集のページを確認させたり、どの図表を見ればいかに注目させたりして、自力解決をより深めたい。

日本と外国との関わりは、後に学習する太平洋戦争などの単元にも通じると思われる。また、本時は中単元の第一時でもあるため、児童の興味を引き出すことを考え、60分で行いたいと思う。

4 中単元の指導・評価計画（総時間数 7時間）

段階	時数	評価規準	評価場面 (方法)	具体的評価規準		「C 努力を要する」と判断された児童への具体的な対応・手立て
				「A 十分満足できる」	「B おおむね満足できる」	
つかむ	1 1/3 (本時) 60分 授業	ビゴ-の絵のおもしろさに関心を持ち、日清・日露戦争について進んで調べようとする。 (関・意)	集団解決 (発言)	ビゴ-の絵から3人の人物と魚が何を表しているのか、また、4国の関係に気づく。	ビゴ-の絵から3人の人物と魚が何を表しているのか気づく。	服装に注目させ、人物が国を表していることから考えさせる。
		日本と外国の関わりに関心を持ち、日清・日露戦争について考えをもつ。 (思・判)	感想 (ノート)	朝鮮へ出兵した日本について、4国の関係をもとに考えることができる。	朝鮮へ出兵した日本について、考えをもつことができる。	4国の関係からなぜ、朝鮮へ出兵したのか、戦争の原因を想起させる。
学びあう	1	日露戦争時の国内の様子を調べるとともに、朝鮮(韓国)を併合した日本について考えをもつ。(思・判)	集団解決 (発言) 感想 (ノート)	朝鮮を植民地化したことについて朝鮮の人々の気持ちを想像しながら考えることができる。	朝鮮を植民地化したことを知り、自分の考えをもつことができる。	日本が朝鮮で行ったことやそれに対する朝鮮の人々の抵抗、日本国内の賛成、反対の意見など具体的な事実に注目させる。
	1	ノルマントン号事件をきっかけにした条約改正の流れを知り、日本の国際的地位の向上に気づくことができる。(知・理)	集団解決 (発言) 感想 (ノート)	条約改正に尽力した人々について知り、その人たちの願いについて考え、日本の国際的地位の向上について気づく。	条約改正に尽力した人々について知り、日本の国際的地位の向上について気づく。	ノルマントン号事件の様子から条約の不平等さや日本の地位の弱さに気づかせる。
	2	産業の発展に伴う人々の暮らしの向上や、民主主義の動き、流れについて理解する。(知・理)	集団解決 (発言) 感想 (ノート)	産業の発展の様子を知るとともに、女性の地位向上、差別の撤廃、選挙制度の実現など民主主義への動きを理解し、なぜそのような動きが出てきたのかについて考える。	産業の発展の様子を知るとともに、女性の地位向上、差別の撤廃、選挙制度の実現など民主主義への動きを理解する。	せんい工業の発達、八幡製鉄所など産業の発展を示す資料に注目させる。 女性の地位の低さや差別に苦しんでいた人々の様子や言葉に注目させる。
ふりかえる	1 2/3	江戸時代から、明治維新を経て大きく様変わりした世の中の様子を資料を使ってまとめることができる。(資・活)(思・判)	まとめ (ノート)	江戸時代から明治時代までの大きな世の中の変化や様子を資料を有効に使うことができる。	江戸時代から明治時代までの大きな世の中の様子を資料を用いてまとめることができる。	暮らしの変化(着るもの、食べ物など)や世の中の変化(条約改正、女性の社会進出)など具体的な事実をもとにまとめさせる。

5 本時の指導

(1) 目標

- ・日清、日露戦争の背景と戦争の様子を調べ、2つの戦争についての考えを持つことができる。

(2) 展開

段階	学習内容・活動	評価の観点と支援の手立て	準備・資料
<p>導入</p> <p>15分</p>	<p>1. 課題把握</p> <p>(1) 「ビゴの風刺画」を見て気づいたことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2人が釣りをしている。 ・ 橋の上で別な釣り人が見ている。 ・ 釣りをしているのは日本人のような人、中国人のような人だ。 <p>(2) この絵は、一体何を表しているのか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 釣りをしているのは日本と清。 ・ 魚は朝鮮で、日本も清も朝鮮を釣ろうとしている。 ・ 朝鮮を支配したいのではないか。 ・ 橋の上に居るのはロシア。ロシアも様子を伺っている。 <p>2. 課題設定</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>課題 日清・日露戦争とはどのような戦いだったのだろう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国名などは分からなくても何をしているのか、どんな人が描かれているか、に注目させる。 ・ 既習事項と関連させる。(同じように支配を目的として起きた出来事 元寇 黒船来航) ・ 既習事項と関連させる。(日本から外国へ兵を出した出来事 秀吉の朝鮮出兵) ・ 日本が朝鮮の支配を目的に朝鮮へ出兵し、日清・日露戦争が起こったことを知らせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ビゴの風刺画 (提示用に大きいもの)
<p>展開</p>	<p>3. 解決の見通し</p> <p>(1) 何を調べるか確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 戦争の原因 ・ 戦争の様子 ・ 戦争の結果 <p>(2) 調べる方法を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教科書 ・ 資料集 ・ 教室の学級文庫 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 調べる具体的内容が分かってから方法を確認する。 ・ どんなことを調べたいのか確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【評】ビゴの絵のおもしろさに関心をもち、日清・日露戦争について進んで調べようとする。(発言)</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全員が見通しをもてるように教科書、資料集はページ数を確認する。 ・ 調べる方法をはっきりさせ、ページや資料が見つかった人を挙手で確認する。 ・ ワークシートは2種類用意し、調べ学習の様子を見て、配布する。 	<p>ワークシート (2種類)</p>

<p>35分</p>	<p>4．自力解決 (1) 資料を元に、調べ学習に取り組む。</p> <p>5．集団解決 (1) 発表する</p> <p>(2) 調べたことをもとに、日清・日露戦争について話し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 出来事なので、「原因」「様子」「結果」の3つの視点で調べ学習を行う。 調べ学習は分かったことを箇条書きに。 <table border="1" data-bbox="759 331 1278 864"> <tr> <td>日清戦争</td> <td></td> <td>日露戦争</td> </tr> <tr> <td>朝鮮の支配権を巡り 日本と清の対立</td> <td>原因</td> <td>満州・朝鮮に進出しよ うとする日本とロシアの対立</td> </tr> <tr> <td>戦費2.5億円 兵力12.3万人 戦死1.7万人</td> <td>様子</td> <td>戦費15.2億円 兵力100万人 戦死12万人 東郷平八郎の活躍</td> </tr> <tr> <td>下関条約 清の独立 賠償金</td> <td>結果</td> <td>ポーツマス条約 朝鮮での日本の指導権</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> 3つの視点について日清戦争、日露戦争を比較させる。 日清日露戦争を通して、朝鮮に進出しようとした日本についてどう思うか発表させる。 2つの戦争に勝利したことでアジアの中での日本の地位の変化について発表させる。 	日清戦争		日露戦争	朝鮮の支配権を巡り 日本と清の対立	原因	満州・朝鮮に進出しよ うとする日本とロシアの対立	戦費2.5億円 兵力12.3万人 戦死1.7万人	様子	戦費15.2億円 兵力100万人 戦死12万人 東郷平八郎の活躍	下関条約 清の独立 賠償金	結果	ポーツマス条約 朝鮮での日本の指導権	<p>ビデオ 「二〇三高地」</p>
日清戦争		日露戦争													
朝鮮の支配権を巡り 日本と清の対立	原因	満州・朝鮮に進出しよ うとする日本とロシアの対立													
戦費2.5億円 兵力12.3万人 戦死1.7万人	様子	戦費15.2億円 兵力100万人 戦死12万人 東郷平八郎の活躍													
下関条約 清の独立 賠償金	結果	ポーツマス条約 朝鮮での日本の指導権													
<p>終末 10分</p>	<p>6．学習のまとめをする。 (1) 歴史的事象に関わるまとめをする。</p> <p>(2) 日清・日露戦争を行った日本についての考え(感想)を書く。</p> <p>(3) 発表する</p> <p>7．次時の学習内容を知る。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>朝鮮をめぐって日清・日露戦争が起き、勝利した日本の国際的地位は向上した。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> 板書事項をもとに確認しながら本時を振り返る。 考え(感想)の視点 <ul style="list-style-type: none"> 朝鮮へ出兵した日本をどう思うか。 2つの戦争について分かったこと。 友だちの良かったところ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【評】日清・日露戦争について自分の考えをもつことができたか。(発言・ノート)</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> 戦場の兵士を待つ日本人々はどんな気持ちだったか。 朝鮮の人々はどんな生活をしたのか。 													

(3) 板書計画

日清・日露戦争はどのような戦い
だったのだろう

日清戦争

日露戦争

ビゴアの風刺画

補助資料

原 因

様 子

結 果